

求職者の動く傾向

	🕒 6月	🌴 7月	📅 8月	
アルバイト・パート	大学生・ 専門学生 / 高校生	学校予定のめどが立ち、バイト探しは5月に引き続き活発に。また、夏休みの短期バイトの情報収集を開始します。	大学生はテスト試験のため動きが鈍化し、高校生は期末テストが終わり、夏休みの短期バイト探しを本格的に探し始めます。	夏休みの短期バイトに集中する傾向にあります。
	フリーター	GW明けに社員からフリーター化する層もいるため、5月に引き続き活発になります。	6月末の賞与後の退職者がフリーター化し、仕事探しをする層の動きもできます。	7月に引き続き、6月末の賞与後の退職者がフリーター化し、仕事探しが活発になります。
	主婦・主夫	子供の学校の予定や新年度の生活リズムの安定により、動きが活発化します。	子供の夏休みがスタートし始めるため、動きが鈍化します。	お盆休み明けに向けて仕事探しを始めたり、活動中の方が活発になる時期です。
正社員・契約社員	6月末のボーナス退職をする求職者がピークになる時期です。6月末のボーナスの額面を見て、更に活発化する傾向にあります。	6月末のボーナス退職をする求職者が引き続き活動している時期です。	お盆休みで帰省中の求職者が、年度末退職に向けて情報収集を開始する時期です。	

- 2ヶ月を目安とした計画採用をしていきましょう



📢 求人作成～採用までをシステム上で一元管理できるサービス

採用管理システム「ワガシャdeDOMO」



掲載開始
月2回

<申込締切>

① 毎月1日開始

(申込は前月20日迄)

② 毎月16日開始

(申込は当月5日迄)

- 応募、採用コストを抑えられる！
- 複数のアグリゲーションメディア、自社媒体との連携で露出強化！
- 採用活動で手間のかかる求人原稿の作成、改善をはじめ採用までも手厚くサポート！

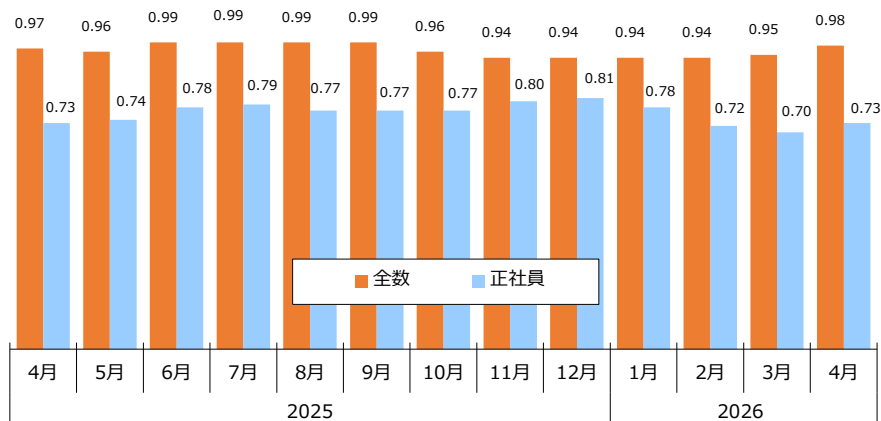


求人市場動向

4月沖縄県 有効求人倍率 … 0.98倍

沖縄県 有効求人倍率

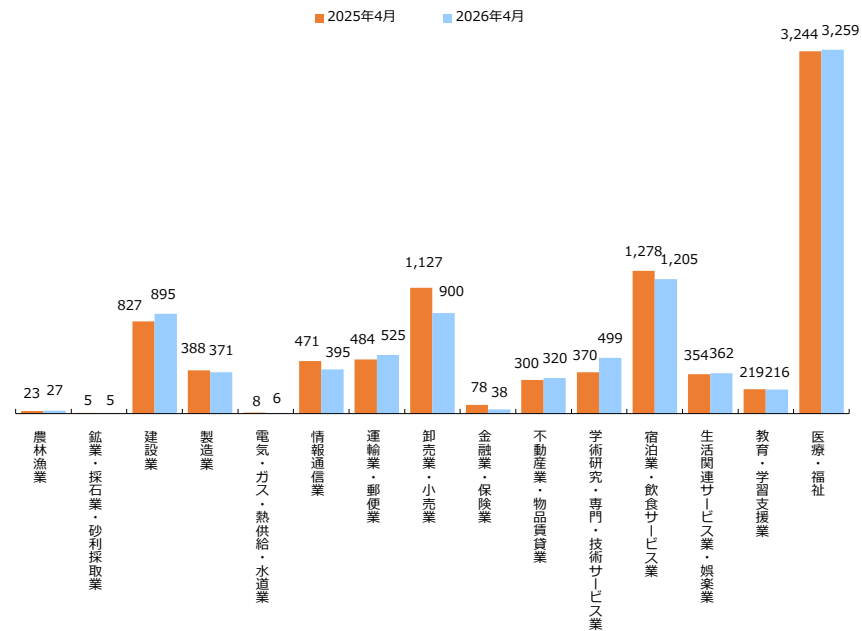
前年同月比 101%

全国…1.18倍
前月…0.95倍 前年…0.97倍

求人倍率は下降トレンド。夏のボーナス支給や現職の節目を機に、求職者が転職活動を本格化させる時期。同時に企業にとっては、秋以降の採用目標に向けて、ターゲット層へ早期にアプローチし、母集団を形成する重要な準備期間となります。

- 有効求人倍率とは…求職者1人に対する求人件数。倍率が1を超えるということは、求職者数よりも求人件数が多い(=採用難)ということを示します。
- 注意…県全体の有効求人倍率は季節調整値(季節要因による調整をした数字)ですが、地区別の有効求人倍率は、季節調整を行っていない数値です。
- データ出所…職業安定所が毎月集計のうえ、翌月末に前月の数値を発表

沖縄県 主たる産業における、産業別新規求人人数



主たる産業では、昨年と比較して
学術研究・専門・技術サービス業、運輸業・郵便業、
建設業などが増加傾向。

一方、金融業・保険業などは減少しています。

■データ出所

沖縄労働局 統計情報 > 求人求職・労働市場の動き > 統計情報 > 労働市場の動き
※新規学卒者を除きパートタイムを含みます

